

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ～ R3	地域住民や観光客のハブ咬症被害防止を図るため、村南部に生息するタイワンハブやタイワンスジオの駆除を行う。今年度はハブ捕獲器を400箇所に設置する。	・ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数: 400箇所	・捕獲器設置周辺における咬症被害件数: 0件	【今後のスケジュール】 ・捕獲器設置エリアの細分化 ・仲泊・前兼久地区の調査 ・拡散防止の強化 ・捕獲数増加エリアに対して捕獲器設置数増加	【R1成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
	②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、各種イベントやプロモーション活動を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置する。	・観光誘客プロモーションの実施 ・イベントの開催 ・観光案内人の配置 ・誘客コンテンツ開発事業	・イベント観覧者数: 15,000人以上 ・村内主要ホテルへの年間宿泊客数: 延べ302万人以上 ・観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 観光誘客プロモーション・イベント活動をはじめ、地域資源を活用したPR活動及び観光案内人の育成等を継続して行う。	【R1成果目標の考え方】 ・イベント来場者数 過去の実績を勘案して設定した。 ・宿泊者数 過去の実績を勘案して設定した。 ・案内所利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	③	万座毛周辺活性化施設整備事業	H24 ～ R3	万座毛へ来訪する観光客の増加を図るため、休憩所や地域の特産品販売所、展望台等の機能を有した観光拠点施設及び駐車場を整備する。今年度は建築及び外構工事を行う。	・建築及び外構工事の実施 ・Wi-Fi、デジタルサイネージ及び防犯カメラ設置工事の実施 ・家具設置工事の実施 ・展示資料の作成 ・展示備品の購入	・建築及び外構工事の完了 ・Wi-Fi、デジタルサイネージ及び防犯カメラ設置工事の完了 ・家具設置工事の完了 ・展示資料作成の完了 ・展示備品購入完了	【R2成果目標】 ・施設の年間利用者数 延べ102万人以上 【今後のスケジュール】 令和元年度 建築及び外構工事 令和2年度 供用開始	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績及び類似施設の実績を参考に設定した。
1	④	あしびなー施設整備事業	H29 ～ R2	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、仲泊地区に観光交流施設を整備する。今年度は建築実施設計を行う。	・建築実施設計の実施 ・用地取得	・建築実施設計の完了 ・用地取得の完了	【R3成果目標】 ・施設の年間利用者(観光客等)数 延べ1,680人 【今後のスケジュール】 令和元年度 建築実施設計、用地取得 令和2年度 建築工事 令和3年度 供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 基本構想における体験学習講座受講者数で設定した。
2	①	恩納通信所跡地活用基盤整備事業	H28 ～ R2	駐留軍用地跡地である恩納通信所跡地の円滑な利用の推進に向け浸水被害の防止を図るべく、排水路を整備する。今年度は、第2期改修工事を行う。	排水路中流部の排水路整備工事(第2期改修工事)の実施。	排水路中流部(348m)の完成。	【R2成果目標】 台風時等の被害件数(排水路の氾濫): 0件 【今後のスケジュール】 令和2年度:排水路上流部(392m)の整備工事実施	【R2成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H31活動目標(指標):平成31年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H31成果目標(指標):平成31年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
3	①	特別支援教育支援員配置事業	H29 ~ R3	<p>特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。</p>	<p>特別支援教育支援員配置 幼稚園:4人 小学校:10人 中学校:6人</p>	<p>特別支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童生徒の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。</p>	<p>【R1成果目標の考え方】 支援対象児童生徒の大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>

H31活動目標(指標):平成31年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H31成果目標(指標):平成31年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。